

「飯谷町住民説明会」（第1回）質疑要旨

日時：平成30年5月20日（日） 13:30～15:50

場所：飯谷小学校 体育館（徳島市飯谷町杉尾）

出席者：市民100人、徳島市9人

質疑応答の概要は、以下のとおり。

Q 1	計画を遂行するにあたって、協定書などの締結を考えているか。
A 1	現時点では、協定書などの合意に関する話にまで至っていません。
Q 2	町内会や協議会を利用して、説明会を行うべきではないと思うがどのように考えているのか。
A 2	本日の説明会は、本市の主催で行っています。周知につきましても広報とくしまやホームページなどを活用し、広く参加を募っています。
Q 3	徳島市はこの場所に建設すると決定しているのか。
A 3	決定していません。地元の理解を得るために説明会を開催しています。
Q 4	徳島市は住民の理解を得たいと言うが、何をもって住民から理解を得られたと判断するのか。
A 4	合意確認の判断につきましては、地元の協議会などと相談しながら考えていきたいと思えます。
Q 5	仮に事業を進めるのなら、地域住民に対してどのくらいの環境整備をする予算を確保しているのか。
A 5	周辺の環境整備は必要なものと考えていますが、現時点で予算は確保できていません。地元住民から周辺対策として望むことを伺い、予算の確保に努めます。
Q 6	搬入ルートについて、交通量の多い県道徳島上那賀線を通り、橋を架けて沖野地区を通るルートを選んだ理由は何か。
A 6	工事の内容、通行止めの有無、経費、工期などの要素を勘案し、資料に示すルートが最善であると判断しました。
Q 7	搬入ルートについて、昔から計画ができていたという話があるがどうなのか。
A 7	そのようなことは全くありません。
Q 8	飯谷町枇杷ノ久保で建設されるなら、必ずしも沖野地区に全収集車両が通行することはないと解釈してもよいか。
A 8	現時点では、説明会資料に示すルートが最善であろうと整理しているところです。実施の可能性については、今後の現地調査等も踏まえ考えていきます。
Q 9	これからも協議会と検討を重ね、ごみ処理計画を進めていくと発言したが、その内容でよいのか。
A 9	協議会とは地域自治の中心を担っている組織と理解しています。最終的な合意

	の形については、決まっています。今後の進め方については地元協議会と進めていきたいと考えています。
Q 1 0	徳島市の資料では、水銀が混入されても問題がないと書いているが、かつて東京都では水銀が排出されたケースもあり、信用できないと考えているがどうか。
A 1 0	平成 30 年度から水銀の測定が義務付けられることになりましたが、現有施設でも基準値以下で稼働しており問題はありません。
Q 1 1	徳島市が発表する値は自分たちで検査しているものではないのか。
A 1 1	検査につきましては、本市の職員が採取・検査を直接行っている訳ではありません。免許を持った事業者による業務委託をして採取・検査を行っています。
Q 1 2	小松島市の水源は建設予定地の下流に位置しており、徳島市は以前の新聞紙面の中で安心であると回答しているが、小松島市の焼却施設では過去に人為的なミスによる油の流出事故が起こった経緯がある。それでも安心と言えるのか。
A 1 2	現有施設も含め、新しく計画する施設は 24 時間稼働する施設であり、職員が常駐しているため早急な発見が可能です。また、人為的ミス発生の可能性を考慮して、マニュアルの徹底や安全対策を十分に行っていきたいと考えています。
Q 1 3	徳島市は小松島市の説明会に参加し説明するのか。
A 1 3	まずはそれぞれの自治体が、それぞれの住民に説明するのが筋であると考えます。
Q 1 4	パリ協定で地球温暖化防止のために二酸化炭素の削減が言われているが、新しい施設では二酸化炭素の削減目標はどのようになっているのか。
A 1 4	資料に示す値は、大気汚染防止法等で定められた法規制値と、自主的に定めた環境保全目標値になります。大気汚染防止法等に二酸化炭素の規制はありません。
Q 1 5	二酸化炭素の削減目標は無いということか。
A 1 5	大気汚染防止法等で規制を受ける項目ではありません。ただし、二酸化炭素の削減は大切なことであり、まずは燃やせるごみの焼却量を減らす努力は必要と考えています。また、新しい施設を熱回収施設として整備することで発電が可能となります。その電力は社会に対して供給され、その結果、電力会社の発電量が抑えられ、電力会社が排出する二酸化炭素を減らすことに繋がります。
Q 1 6	ごみ処理施設建設が計画・発表されたことにより、住民間に摩擦が生じているように感じるが、どう考えているのか。
A 1 6	多くの住民から理解が得られるよう十分に説明をしていきます。
Q 1 7	建設候補地は、5 種類の危険災害区域に指定されている。危険な印象を受けるのだが、この場所に施設を建設するのか。
A 1 7	地域には、危険区域に指定された場所がありますが、施設建設予定地は危険区域に含まれないものと認識しています。

Q 1 8	建設候補地周辺は地下水を上水道として利用しているが、施設で利用する上水道はどのような計画なのか。
A 1 8	水道局が整備する上水道と地下水の利用が考えられますが、現時点でどちらを利用するかは検討中です。
Q 1 9	上水道の計画はいつ頃に示されるのか。
A 1 9	施設整備基本計画の中で示したいと考えています。時期については今年度中を目標としていますが、計画に対する意見も伺いながら進めていきます。
Q 2 0	これまでの説明会ではクロードシステムを採用し、一滴も水を流さないと説明してきたはずだが、なぜ今回から生活排水を流す話になったのか。
A 2 0	1 巡目の説明会では、プラント排水も生活排水も公共水域には流さないと説明してきましたが、今回からはプラント排水に変更はありませんが、生活排水については合併浄化槽で処理し、公共水域へ排水する案です。生活排水も工場内で利用することは可能ですが、工場内で利用すると発電量が下がり、社会全体で見た場合、発電所の負荷軽減に繋がらず、二酸化炭素の排出量を抑制することができません。 新施設の合併浄化槽は、4 人家族にすると 15 世帯相当です。
Q 2 1	ごみ処理施設の煙突の高さはどれくらいになるのか？
A 2 1	現在検討中です。
Q 2 2	国府町の焼却施設は 80m の煙突高があると聞いている。それを参考に建設候補地に煙突が建ったとすると、遠方からも確認できるおそれがあり、山々の間から煙突が顔をだすのではと心配している。景観について配慮されるのか。
A 2 2	仮に 80m の煙突が建てば、山の合間から見えることになると思われます。現時点では、何m の煙突にすべきか検討中ではありますが、排ガスの拡散の他に景観につきましても住民の意見を伺いながら検討します。
意見 1	ごみ処理施設の建設は、地元にとって良いことは一つもない。風評被害、地価の下落、人口の減少が心配であるため、計画の見直しを考えてほしい。
意見 2	飯谷町枇杷ノ久保で計画を進めるのなら、一番影響を受けるのは飯谷町にある本村地区と沖野地区である。その意見を十分に聞いて事業を進めてほしい。
意見 3	本村地区、沖野地区が反対する状況であるなら、多家良行政地区が賛成だからと事業を進めないでほしい。
意見 4	今回の説明会のみで住民が十分に理解したとは思えない。もっと時間を掛けて事業を進めるべきである。
意見 5	煙突は高ければ高いほど排ガスは拡散され、周辺に影響を与えにくい。できるだけ高い煙突で計画すべきである。

以 上